

## 国土審議会北海道開発分科会企画調査部会中間取りまとめからの修文（案）

番号	頁 行	「中間取りまとめ」の記述	修文（案）
1	はじめに 2枚目 17行目	「本中間報告は取りまとめられている。」	「本報告を取りまとめた。」
2	6ページ 29行目	追加	「北海道は、上記のように特有な制約条件を抱えており、加えて、今後、全国を上回る急速なテンポで人口減少と高齢化が進行し、人口減少下における地域の活力維持が大きな課題となるものと予測される。 このような状況の下で、」
3	8ページ 10行目	「重点課題」	「重点的に推進を図るべき課題」
4	8ページ 21行目	追加	「なお、北方領土をめぐる状況を注視し、その状況の変化に応じて総合的な開発の基本方向について改めて検討を行う必要がある。」
5	8ページ 29行目	「これらの重点課題の解決に際しては、北海道独自のノウハウ、文化に裏打ちされた技術、産品、資源などを世界に向けて発信できる「北海道ブランド」として確立することを目指すべきである。」	「これらの重点課題の解決に際しては、各課題の推進に関する地域の特性を踏まえるとともに、特区的手法を含む地域独自の取組・アイデアと連携し施策の具体化及び実施を図るべきである。また、北海道独自のノウハウ、文化に裏打ちされた技術、産品、資源などを世界に向けて発信できる「北海道ブランド」として確立することを目指すべきである。」

番号	頁 行	「中間取りまとめ」の記述	修文（案）
6	9 ページ 13行目	<p>「しかし、近年、国際化の進展などによる競争の強まり、農家戸数の減少や就業者の高齢化などに伴う地域の活力低下、家畜排せつ物等による環境負荷の増大など、農業の持続的な発展のためには様々な課題解決への取組が迫られている。また、食品の安全性や品質向上といった消費者ニーズの高まりに対する総合的なフードシステムとしての対応も必要となっている。</p> <p>今後とも我が国の食料基地としての役割を果たしていくためには、北海道が持つ優位性に対する自覚と独自の政策展開の必要性を念頭に置きつつ、循環型農業や大規模な企業的経営などの先駆的、実験的な取組を積極的に展開し、国際競争に耐えうる経営環境の整備や安全な食料の供給システムの確立を図るとともに、雇用の場の確保や国土・環境の保全、教育、交流の場などの農業・農村の多面的機能を十分に発揮させることが必要である。」</p>	<p>「しかし、近年、国際化の進展などによる競争の強まり、<b>農林水産業従事者</b>の減少や高齢化などに伴う地域の活力低下、家畜排せつ物等による環境負荷の増大、<b>水産資源の減少</b>など、<b>農林水産業</b>の持続的な発展のためには様々な課題解決への取組が迫られている。また、食品の安全性や品質向上といった消費者ニーズの高まりに対する総合的なフードシステムとしての対応も必要となっている。</p> <p>今後とも我が国の食料基地としての役割を果たしていくためには、北海道が持つ優位性に対する自覚と独自の政策展開の必要性を念頭に置きつつ、循環型農業や大規模な企業的経営、<b>環境と調和した水産業の展開</b>などの先駆的、実験的な取組を積極的に展開し、国際競争に耐えうる経営環境の整備、安全な食料の供給システムの確立、<b>水産資源の持続的利用の推進</b>を図るとともに、雇用の場の確保や国土・環境の保全、教育、交流の場<b>といった農林水産業・農山漁村</b>の多面的機能を十分に発揮させることが必要である。」</p>
	9 ページ 30行目	「北海道の冷涼な気候風土を活かしたクリーン農業の推進と、そのことを示すわかりやすい指標等を活用した北海道農産物のブランド化の促進」	「北海道の冷涼な気候風土を活かしたクリーン農業の推進 <b>や流域全体で良好な水域環境を保全することによる安全で安心な水産物の生産と</b> 、そのことを示すわかりやすい指標等を活用した北海道農 <b>水産物の</b> ブランド化の促進」
	10ページ 12行目	「北海道農村の産業、レクリエーション、コミュニティといった多目的利用空間としての土地利用モデルの構築」	「北海道農 <b>山漁村</b> の産業、レクリエーション、コミュニティといった多目的利用空間としての土地利用モデルの構築」
	10ページ 14行目	「食関連産業等と連携した農村ツーリズムの推進」	「食関連産業等と連携した農 <b>山漁村</b> ツーリズムの推進」

番号	頁 行	「中間取りまとめ」の記述	修文(案)
7	13ページ 33行目	「ポスト工業社会における地域の競争力は、その地域に住む人々の適応性とクオリティが重要な影響を及ぼすこととなり、特に、高等教育システムを用いた能力開発と優秀な人材を引きつける教育環境の整備が最も重要な要素となる。」	「ポスト工業社会における地域の活力は、その地域に住む人々の環境や社会の変化に対する適応性と、文化、教養、技術などのクオリティの高さに直接依存するようになる。このため、多様な高等教育機関が有機的に連携した高等教育システムを用いた能力開発と優秀な人材を引きつける教育環境の整備が最も重要な要素となる。」
	14ページ 9行目	「北海道の高等教育資源を活かしたモデル地区としての先駆的な取組に関する検討」	「北海道の教育資源を活かした高等教育システムのモデル地区としての先駆的な取組に関する検討」
8	17ページ 7行目	「とりわけ、北海道は、既に1997年に人口のピークを迎えており、今後、全国を上回る急速なテンポで人口減少と高齢化が進行するものと予測され、地域社会の存続すら危ぶまれる事態が懸念される。」	「とりわけ、北海道は、既に1997年に人口のピークを迎えており、今後、全国を上回る急速なテンポで人口減少と高齢化が進行するものと予測される。現在においても、道内市町村の7割以上が過疎地域に指定されている状況を勘案すると、将来、地域特性を踏まえた適切な施策展開が図られない場合、広域にわたり地域社会の存続が困難となるおそれがある。」